

案件概要書

2013年2月26日

国際協力機構 東南アジア・大洋州部 東南アジア第四課

1. 案件名（国名）

国名： カンボジア王国

案件名： 国立母子保健センター拡充計画（Project for Expansion of National Maternal and Child Health Center）

2. 事業の背景と必要性

(1) 当該国における保健分野の開発実績（現状）と課題

カンボジアでは1970年代からの内戦の影響で、医療従事者数が激減した他、医療機材や施設が破壊され、保健システム全体が壊滅的打撃を受けた。内戦終結後は、多数のドナーが保健分野を支援したことにより、妊産婦死亡率は206/10万出生（2010年 Cambodia Demographic and Health Survey: CDHS2010）となり、1990年（690/10万出生）、2000年（470/10万出生）からミレニアム開発目標（Cambodia Millennium Development Goals: CMDGs、2015年に250/10万出生）の達成が見込まれるレベルにまで大きく改善した。このように、カンボジアの保健医療全般の水準が改善傾向にあることが確認されているが、周辺国と比較すると依然として妊産婦死亡率は高い状況にある。カンボジアでは慢性的に医師、看護師、助産師等の医療従事者が不足しており、特に地方における助産師不足が深刻である。妊産婦死亡は、その大半が出産前後の大量出血や合併症によるものであり、医療従事者の数及び質の強化が課題となっている。

1997年に無償資金協力にて建設された「国立母子保健センター」は、首都プノンペンに位置し、3つの機能（政策・臨床・研修）を兼ね備えたカンボジアで最大の産科病院である。建設から15年経過し、それぞれの機能が拡大しており、研修で受け入れる学生数が増加する一方で、低体重児の出産等、緊急産科ケアを含むより高度なケアが求められている。

(2) 当該国における保健分野の開発政策と本事業の位置づけ及び必要性

カンボジアの国家開発戦略計画（NSDP: National Strategic Development Plan）において、保健分野を優先課題と位置づけており、中でも母子保健は、保健セクター戦略計画（HSP: Health Sector Strategic Plan 2003～2015）においても最重点課題として挙げられている。

本事業は、国のトップレベルの臨床・研修機関として質を維持するために、より適切な保健サービス提供を目指して同センターを拡充するものであり、母子保健を最重点課題として挙げているカンボジア政府の保健政策に合致するものである。

(3) 保健分野に対する我が国及びJICAの援助方針と実績

保健セクターは、我が国のカンボジア国別援助方針（2012年4月）の援助重点分野「社会開発の促進」に該当し、開発課題「保健医療の充実」の中で保健システム全体

の強化を支援していくこととして「保健システム強化プログラム」を設定している。これまでの我が国及び JICA では 1992 年 3 月から 3 年間にわたり、カンボジア保健省に医療アドバイザーを派遣し、他機関からの支援が少ない母子保健分野の強化のため国立母子保健センター建設にかかる無償資金協力を実施、同センターの管理・運営能力、研修活動、診断・治療水準の向上を目的とし、1995 年から 10 年間にわたり「母子保健プロジェクトフェーズ 1 及び 2」を実施した。現在「助産能力強化を通じた母子保健改善プロジェクト（2010 年～2015 年）」を実施しており、質の高い助産ケアの提供が可能となるよう、助産トレーニングシステムを強化することを目的として、助産師の卒前・卒後教育で実習先となる地方レファラル病院及び地方看護・助産学校の強化を同センターを拠点に行っている。

(4) 他の援助機関の対応

保健セクター戦略計画 2 (Health Sector Support Project 2: HSSP2、2009–2013 年、130 百万ドル)：世界銀行、英国国際開発省 (DFID)、国連人口基金 (UNFPA)、フランス開発庁 (AFD)、国連児童基金 (UNICEF)、オーストラリア国際開発庁 (AusAID)、ベルギー技術協力機構 (BTC) により、カンボジア保健戦略計画の実施促進を目的とした、保健省との共同出資による保健分野全般に関わるプロジェクトを実施している。また、WHO が新生児ケア分野の支援を実施している。詳細は協力準備調査にて確認する。

3. 事業概要

(1) 事業の目的

国立母子保健センターを拡充することにより、同センターの医療サービス及び産科・新生児ケアに係る研修体制の向上を図り、もってカンボジアの母子保健サービスの質の改善に寄与することを目的とする。

(2) プロジェクトサイト/対象地域名

プノンペン都

(3) 事業概要

1) 土木工事、調達機器等の内容

国立母子保健センター病棟及び研修棟の拡充、医療機材の供与

2) コンサルティング・サービス/ソフトコンポーネントの内容：協力準備調査にて確認

3) 調達・施工方法：協力準備調査にて確認

(4) 事業実施体制

事業実施機関： 国立母子保健センター

(5) 環境社会配慮・貧困削減・社会開発

1) 環境社会配慮

① カテゴリ分類： C

② カテゴリ分類の根拠： 本事業は、「国際協力機構環境社会配慮ガイドライン」（2010 年 4 月公布）に掲げる影響を及ぼしやすいセクター・特性及び影響を受けやすい地域に該当せず、環境への望ましくない影響は最小限であると判断されるため。

- 2) 貧困削減促進等：協力準備調査にて確認する。
- (6) 他スキーム、他ドナー、他案件等との連携：協力準備調査にて確認する。
- (7) その他特記事項： 特になし。

4. 過去の類似案件の評価結果と本事業への教訓

(1) 類似案件の評価結果

類似案件の評価結果：無償資金協力案件「カンボジア国バンティエンチャイ州モンゴルボレイ病院改修計画」（2004年）の評価等において調達された第三国製の医療機材について、地元業者がスペアパーツを調達できなかったため修理が困難であった機材があった。

(2) 本事業への教訓

スペアパーツの調達ルート確保に留意した機材選定を行う。

以上

[別添資料] 地図

カンボジア地図



プノンペン
Phnom Penh

国立母子保健センター
National Maternal and Child
Health Center



プノンペン地図